



①〔天明三年浅間山噴火被害絵図〕

年次不詳（天明3年カ）  
\*彩色 縦82.6cm×横115.8cm

浅間山の大噴火により発生した「土石なだれ」が北麓の村々をのみこみ、「天明泥流」とな<sup>てんめいでいりゅう</sup>って吾妻川、さらには利根川沿岸の村々を埋め尽くした様子や各地の降灰の様子が広範囲にわたり色分けで表現された珍しい絵図です。絵図の上部を南方向にして村々の位置や景観などが詳細に描かれ、深刻な被害状況が文字でも記されています。また、浅間焼けによる被害の状況だけではなく、天明3年頃の上州の村割りや地勢も知ることができます。

狩野一郎家文書 P1303 No.1

〔天明三年浅間山噴火被害絵図〕 縦82.6cm×横115.8cm、軸装 天明3年カ（1783年） 狩野一郎家文書 P1303 No.1